

令和3年度 中央農業高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証 (★は重点目標)

取組課題		目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	常に教育公務員としての自覚をもち、信用失墜行為を未然に防止する。	啓発資料等を活用し、4/23 に職場研修を実施し、社会人・教育公務員としての意識啓発を行った。
2	★ 職場のハラスメントの防止	ハラスメントに対する意識を高め、良好な職場環境をめざす。	協働的な関係を築ける良い職場環境づくりのため、「同僚性」の意識を浸透させるため4/2に防止研修を実施した。 職員同士の円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場とすることができるよう10/5、研修での呼びかけと随時面談で伝達した。
3	★ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を高めセクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	人権意識の向上から規範意識の醸成まで職員自ら考えられる研修を7/19 職場討議として行った。準備室の適切な使用を徹底するため定期的巡回と環境整備を行った。
4	★ 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導を未然に防止する。	生徒支援グループリーダーを「校内人権窓口」として指名し、生徒への周知を図り、生徒が相談しやすい態勢づくりを目指すことができた。 事例紹介及びセルフチェック等の啓発資料を活用し6/9と9/9の2回実施し、自分の言動・行動を振り返り意識啓発を行った。
5	成績処理、進路関係書類の取扱いに係る事故防止	成績処理・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。	成績処理、調査書・進路関係書類発行にあたっては、マニュアルに沿って業務を行ない、学年及び所掌グループにおいてチェックの徹底など組織的な対応をした。 年間5回ある定期テスト前に注意喚起を行い、学習支援グループより教務基準等を確認することができた。
6	個人情報管理・情報セキュリティ対策	個人情報の管理に対する意識を高め、個人情報の紛失・流出・滅失を未然に防止する	5/24、7/5 に啓発資料やチェックシートで絶えず振り返り点検を行い、意識啓発を行った。また、滅失を防ぐための廃棄ルールを徹底するよう注意喚起を行った。個人情報は原則持ち出し禁止とする。持ち出す場合は「個人情報持ち出し許可願」による申請など、手続きの徹底を図ることができた。
7	交通事故防止酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努め、違反等の運転を未然に防止する。	12/9 に資料を活用し、交通安全・飲酒運転防止の意識啓発を行った。
8	業務執行体制の確保等	事故を未然に防止するため、情報を共有し相互チェックを行う。	11/9、不祥事発生の危機を意識し、業務執行体制を情報の共有や複数で対応することを徹底できれば改善できることについて研修した。
9	★ 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故を未然に防止する。	1/13 及び 2/8 の研修において、入選マニュアルを十分理解し、それぞれの業務分担、業務内容を理解させ。小さなミスが多大な影響を生むことから、業務の特殊性・重要性を認識させた。点検、入力等、業務はすべて複数対応とし、相互に声出し確認する等、組織的な事故防止体制を整えるよう努めた。
10	★ 不適正経理処理の防止	県費・私費の会計を適正に執行する。	4/21、私費会計担当者説明会を実施し、私費会計ルールを周知、徹底した。 4/23 に研修にて、改訂された私費会計基準に基づき、適切な会計執行を行えるよう注意喚起を行った。特に立替払いをしないために、計画的な執行をするよう、管理職から注意喚起した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題

今年度は、県ではわいせつ・セクハラ行為の防止が最重要課題となっており、研修以外職場討議をへて「自分事として考える」ことができたと思う。また、準備室の環境整備を見直し防止策を講ずることができた。

しかし、県全体で不祥事がなくならないことを学校全体で深く受け止め、令和4年度についても職員全員が不祥事ゼロを目標に教育公務員としての高いモラルを持ち職務の遂行に努めていきたい。